

薬科学専攻 博士前期（修士）課程 カリキュラム

博士前期（修士）課程のカリキュラムは、必修科目である薬科学特論・講座特別演習・薬科学特別実験・薬科学特別演習、および選択科目である講座特論から構成されている。博士前期（修士）課程を修了するためには、計 **30 単位以上** を修得しなければならない。

1) 講座特論（必要単位数 8 単位以上）

選択科目である講座特論の内訳は以下のとおりである。

- ◇ 1 年次あるいは 2 年次に行われる以下の 20 科目より 8 科目（8 単位）の講座特論講義を修得しなければならない。

生化学特論	衛生分子毒性学特論	薬理学特論
医薬生命化学特論	薬品分析学特論	医薬品製造化学特論
生薬学特論	薬物動態学特論	創剤工学特論
分子病態学特論	生体情報分子解析学特論	薬物治療学特論
創薬育薬基礎特論	創薬育薬応用特論	薬化学特論
薬品物理化学特論	医薬品創製化学特論	生物薬品化学特論
免疫微生物学特論	創薬探索学特論	

- ◇ 講座主任は、「系統的学習を課す」の趣旨で 1 年次 4 月に **3 科目を必修** として指定登録する。
- ◇（連携講義）指導教員が教育上の必要を認めた場合は、研究科の定めるところにより、他研究科および他大学院の授業科目を履修できる。
- ◇ 8 単位を超えて単位を取得した場合、すべて修得単位として認定される。

2) 薬科学特論（必要単位数 4 単位）

特論の内訳は以下のとおりである。

- ◇ 1～2 年次を通じ、月例セミナーあるいは大学院特別講義に少なくとも 20 回出席することにより、4 単位が与えられる。
- ◇ 出席の認定は、所定の **セミナーあるいは講義毎** に出席カードの提出及び出席表への署名で行う。出席カードは各自が保管し、所定の時期（2 年次 2 月）に学生室に提出すること。

3) 講座特別演習（必要単位数 6 単位）

講座特別演習の内訳は以下のとおりである。

- (1) 1年次に開催された所属講座・研究室セミナーへの参加（2単位）
- (2) 2年次に開催された所属講座・研究室セミナーへの参加（2単位）
- (3) 研究科が指定する学内研究発表会への参加（1単位）
- (4) 論文発表（受理証明も含む）（1単位）
- (5) 学会等での発表（1単位）
- (6) 学会等への参加とレポート提出（1単位）

◇以上の(1)、(2)、(3)に加え、(4)、(5)、(6)のうちのいずれかにより6単位を取得すること。

◇講座特別演習の単位認定は6単位を超えることはない。

4) 薬科学特別実験（必要単位数10単位）

所属講座・研究室における実験・研究により10単位が与えられる。

5) 薬科学特別演習（必要単位数2単位）

修士論文の作成、審査員との討論、論文の口述発表と質疑応答により2単位が与えられる。

◇単位の認定は、口述発表後の拡大研究科委員会の合否判定に則り講座主任が行う。

単位認定について

単位認定の時期と認定者は以下のとおりである。

	時期	認定者
講座特論	各学期終了時	特論担当教員
薬科学特論	2年次2月	研究科長
講座特別演習	2年次2月	講座主任
薬科学特別実験	2年次2月	講座主任
薬科学特別演習	2年次2月	講座主任（拡大研究科委員会の合否判定に則り講座主任が行う。）

最終的な博士前期課程修了判定は、拡大研究科委員会が上記の単位認定結果をもとに行う。

博士前期(修士)課程 薬科学専攻

修了必要単位数： 必修 22 単位、選択 8 単位、合計 30 単位

科目区分	授業科目	配当年次	単位数		授業形態		
			必修	選択	講義	演習	実習
必修科目	薬科学特論	1～2 通	4		○		
	講座特別演習	1～2 通	6			○	
	薬科学特別実験	1～2 通	10				○
	薬科学特別演習	1～2 通	2			○	
選択科目	生化学特論	1・2 前		1	○		
	衛生分子毒性学特論	1・2 前		1	○		
	薬理学特論	1・2 前		1	○		
	医薬生命化学特論	1・2 前		1	○		
	薬品分析学特論	1・2 前		1	○		
	医薬品製造化学特論	1・2 前		1	○		
	生薬学特論	1・2 前		1	○		
	薬物動態学特論	1・2 前		1	○		
	創剤工学特論	1・2 前		1	○		
	分子病態学特論	1・2 前		1	○		
	生体情報分子解析学特論	1・2 前		1	○		
	薬物治療学特論	1・2 前		1	○		
	創薬育薬基礎特論	1・2 前		1	○		
	創薬育薬応用特論	1・2 前		1	○		
	薬化学特論	1・2 後		1	○		
	薬品物理化学特論	1・2 前		1	○		
	医薬品創製化学特論	1・2 前		1	○		
	生物薬品化学特論	1・2 前		1	○		
	免疫微生物学特論	1・2 前		1	○		
	創薬探索学特論	1・2 前		1	○		
知的財産管理入門	1・2 前		1	○			

◇指導教員が必要と認め、かつ受講者数が上限に達していない場合、以下に示す博士後期課程の授業科目を受講できる。ただし、認定された単位は修了必要単位数（30 単位）に含めない。なお、これらのシラバスは博士課程・博士後期課程のページを参照のこと。

- ・ 科学英語: オーラル・コミュニケーションⅠ・Ⅱ
- ・ 科学英語: アカデミック・プレゼンテーション
- ・ 科学英語: アカデミック・ライティング
- ・ 科学英語: インデペンデント・リスニング
- ・ 科学英語: 学生主導型ディスカッションⅠ・Ⅱ
- ・ 科学英語海外研修プログラム
- ・ 健康長寿科学特論
- ・ 薬剤学特論
- ・ 食品科学特論Ⅱ
- ・ 栄養科学特論Ⅱ
- ・ 人類遺伝学特論Ⅱ
- ・ 遺伝学特論Ⅱ

薬科学専攻 (博士後期課程) カリキュラム

科目区分	授業科目	単位数		
		講義	演習	実験 実習
必修科目	先端薬科学特別演習・実験			6
自由 選択 科目	健康長寿科学特論Ⅰ 食品科学特論Ⅱ 栄養科学特論Ⅱ 人類遺伝学特論Ⅱ 遺伝学特論Ⅱ 科学英語：オーラルコミュニケーションⅠ 科学英語：オーラルコミュニケーションⅡ 科学英語：インデペンデント・リスニング 科学英語：アカデミック・プレゼンテーション 科学英語：アカデミック・ライティング 科学英語：学生主導型ディスカッションⅠ 科学英語：学生主導型ディスカッションⅡ 科学英語海外研修プログラム	1 2 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 2	1 1 1 1 1 1 1 1 2	
修了必要 単位数	必修科目 6 単位			